

年	組	名前
---	---	----

大分県に寄せられた「おんせん県 おおいた」のロゴやキャッチフレーズの使用申請が約半年で1000件を突破しました。

「おんせん県」のロゴをあしらったヤマト運輸の梱包用段ボール



「おんせん県」半年で使用申請1000件突破

じわじわ浸透

大分県に寄せられた「おんせん県おおいた」のロゴやキャッチフレーズの使用申請が約半年で1000件を突破した。約8割が民間企業からで、土産や県産品のパッケージ、ビジネスで使う名刺などへの使用が多い。他県の企業からの問い合わせも増えているという。官民で使用が広がることで、関係者は「おんせん県」の浸透、定着に向けてPRの相乗効果が生まれることを期待する。

県産品。パッケージや名刺

他県企業も興味示す

申請は受け付けを始めた3月8日から8月28日現在で1021件を販売している。180件あり、そのうち81件は民間企業から。最近では他県の旅行会社などが大分の魅力を端的に表した「おんせん県」のロゴを、旅行商品を売り出す動きも広がっている。

県内の観光関係者でつくる「おんせん県観光誘致協議会」の西田陽一会長は「県と一緒に活動することで他県の自治体や企業からの信頼度も上がる」と期待を示している。

①全体の申請数は何件で、民間企業からの申請は何件ですか。

.....

.....

.....

.....

②ロゴマークを見たことがありますか？ どのようなところで見たか思い出してみよう。

.....

.....

.....

.....

③どのようなところに付けたら効果的か、考えてみよう。

.....

.....

.....

.....